

区 分	教養教育科目－自然科目	担当教員	高石 武史、大塚 厚二			
授業科目	基礎数学					
英 訳	Basic Calculus					
配当年次	1 年次	前期	必選別	選択	単位数	2 単位
【授業の概要】 式の計算の基本を復習し、2次関数の諸性質を説明した後、関数とグラフの関係を明らかにする。また、指数関数、対数関数、三角関数の性質についても学ぶ。基本概念、重要事項等の理解を容易にするため、出来るだけ多くの例題を取り上げて説明する。						
【授業の目的】 理工系科目で必要とされる数学の基礎を習得する。特に2次関数とそのグラフの関係から2次方程式や2次不等式の解のイメージをつかむこと、指数関数と対数関数の関係からその基本的な考え方を理解すること、三角比の意味と三角関数の公式の導出を理解することを目指す。						
【到達目標】 ・2次関数・指数関数・対数関数・三角関数とそれらのグラフの関係を理解する ・三角比の意味を理解し、三角関数を用いた基本的な計算ができるようにする						
【準備学習(予習・復習)】 ・前回の授業内容をよく理解しておくこと、不明点は質問すること						
【授業計画】 第 1 回 整式 第 2 回 整式の除法と分数式 第 3 回 数 第 4 回 2 次関数とグラフ 第 5 回 2 次方程式 第 6 回 2 次不等式、関数とグラフ 第 7 回 提出課題 1 の解説 第 8 回 前半まとめと中間テスト 第 9 回 指数関数 第 10 回 対数関数 第 11 回 三角比 第 12 回 正弦定理と余弦定理 第 13 回 三角関数 第 14 回 三角関数の加法定理 第 15 回 提出課題 2 の解説 定期試験						
【教科書】 新版 基礎数学 (岡本和夫、実教出版株式会社)						
【参考書】 なし						
【成績評価基準】 中間テスト(30%)、期末試験(30%)、提出課題(20%)、授業への取り組み (20%) で評価する						
【メッセージ】 授業の最後20分程度、評価に影響しない振り返りテストを行う。なお、中間での振り返りテスト(中間テスト)は評価に使う。 高校までに履修した数学のうち、よく使う関数の基本的な考え方をもう一度確認していく。微分や積分について学びたい人は微分・積分Ⅰを受講すること。						

区 分	教養教育科目－自然科目	担当教員	大塚 厚二、高石 武史、 久保 隆、中村 学			
授業科目	線形代数 I					
英 訳	Linear Algebra I					
配当年次	1 年次	前期	必選別	選択	単位数	2 単位
【授業の概要】 最初にベクトルに関する基礎、続いて行列式の計算方法と応用を学ぶ。ベクトルの知識を持っていない学生にも理解できるように講義する。全体を通して、実際に対応した演習問題を解きながら講義を進めていく。						
【授業の目的】 力学、電磁気学、回路理論等、工学では様々な局面で連立1次方程式が現れる。また、ベクトルや行列の知識は情報デザインの図形処理においても必要であり、空間とベクトル、場と変換行列という概念を自分の中で作り上げることが重要となる。本講義では、基礎となるベクトルや幾何の概念を学び、ベクトルや行列計算に必要な基礎知識の習得をめざす。特に、ベクトルと図形の対応、行列式の計算を通して自分なりのイメージを作り上げるのが目的である。						
【到達目標】 ・ベクトルを使った図形の表現ができるようにし、ベクトル方程式と図形との対応がイメージできるようにする ・行列式の性質を理解し、連立一次方程式の計算、ベクトルの外積計算ができるようにする						
【準備学習(予習・復習)】 ・前回の授業内容をよく理解しておくこと、不明点は質問すること						
【授業計画】 第 1 回 ベクトルの演算・空間の座標 第 2 回 ベクトルの成分・内積 第 3 回 内積と三角関数の基本性質 第 4 回 位置ベクトル・直線の方程式 第 5 回 平面の方程式 第 6 回 球の方程式 第 7 回 提出課題 1 の解説 第 8 回 前半まとめと中間テスト 第 9 回 行列式の導入、行列式の性質 第 10 回 行列式の性質と行列式の計算 第 11 回 行列式の展開 第 12 回 高次行列式 第 13 回 連立1次方程式、クラームルの公式 第 14 回 ベクトルの外積 第 15 回 提出課題 2 の解説 定期試験						
【教科書】 「線形代数 改訂改題」 矢野健太郎、石原繁 編 (裳華房)						
【参考書】 なし						
【成績評価基準】 中間テスト(30%)、期末試験(30%)、提出課題(20%)、授業への取り組み(20%)で評価する						
【メッセージ】 授業の最後 20 分程度、評価に影響しない振り返りテストを行う。なお、中間での振り返りテスト(中間テスト)は評価に使う。工学系専門科目で扱う 2 次元や 3 次元の複雑な問題も、ベクトルを使うことで見通しよく計算していくことができる。ベクトルの考え方の最初からスタートするので、初めての人も安心して受講してほしい。 関連科目：線形代数Ⅱ、情報数学(工)、他						

区 分	教養教育科目－自然科目	担当教員	高石 武史、大塚 厚二、 久保 隆、中村 学			
授業科目	微分・積分 I					
英 訳	Calculus I					
配当年次	1 年次	前・後期	必選別	選択	単位数	2 単位
【授業の概要】 微分積分に関する基礎事項を説明する。1 変数関数の微分法と簡単な積分法を、それらの基本概念を理解できるように講義する。厳密な議論は可能な限り省略し、基本概念、重要事項等の理解を容易にするため、出来るだけ多くの例題を取り上げて説明する。学生が解析学の基本概念を理解し、微分法や積分法を十分応用できることを目的とする。						
【授業の目的】 微分積分は工学における諸問題の解決の基礎となる。本講義では、高等学校において既に微分や積分の基礎を学習している学生も含めて、基本的な事柄から復習を兼ねて講義を行う。						
【到達目標】 ・代表的な1変数関数をもとに、関数の極限・変化率という解析学の基本概念を理解する ・微分法や積分法を十分応用できる						
【準備学習(予習・復習)】 ・前回の授業内容をよく理解しておくこと、不明点は質問すること						
【授業計画】 第 1 回 初等関数 (多項式, 三角関数) の説明 第 2 回 初等関数 (指数関数, 対数関数) の説明 第 3 回 微分係数、導関数、微分公式 第 4 回 整式、有理式の微分法 第 5 回 三角関数・逆三角関数の微分法 第 6 回 指数関数・対数関数の微分法、2 次導関数 第 7 回 提出課題 1 の解説 第 8 回 前半まとめと中間テスト 第 9 回 平均値の定理とマクローリン展開、関数の増減 第 1 0 回 不定積分の導入、べき関数の不定積分 第 1 1 回 三角関数の不定積分 第 1 2 回 指数関数の不定積分 第 1 3 回 置換積分法 第 1 4 回 部分積分法、有理関数の不定積分 第 1 5 回 提出課題 2 の解説 定期試験						
【教科書】 「やさしく学べる 微分積分」 石村園子 [著] (共立出版)						
【参考書】 なし						
【成績評価基準】 中間テスト(30%)、期末試験(30%)、提出課題(20%)、授業への取り組み (20%) で評価する						
【メッセージ】 授業の最後 20 分程度、評価に影響しない振り返りテストを行う。なお、中間での振り返りテスト(中間テスト)は評価に使う。 工学系専門科目で必要となってくる基礎知識を学んでいく。微分と積分の考え方の最初からスタートするので、初めての人も安心して受講してほしい。 関連科目：微分・積分Ⅱ、情報数学(Ⅰ)、工業数学(Ⅰ)、他						

区 分	教養教育科目－自然科目	担当教員	久保 隆、高木 尚光			
授業科目	科学技術の基礎					
英 訳	Fundamental Physical Science					
配当年次	1年次 前期	必選別	選択	単位数	2単位	
【授業の概要】 教科書を用いて物理学の初歩について講義する。						
【授業の目的】 物体の変化を計算で予測する手法について理解を深める。						
【到達目標】 高等学校1年生程度の数学を用いて、力学の初歩的な問題が理解できるようになる。						
【準備学習(予習・復習)】 興味のある話や、教員に質問するかWEB等で調査し、理解を深めること。						
【授業計画】 第 1回 物理量 第 2回 単位と次元 第 3回 物理量の測定法 第 4回 位置と時間と速度 第 5回 直線運動と加速度 第 6回 一般の運動と微分 第 7回 力 第 8回 力のつり合い 第 9回 力の合成と分解 第10回 摩擦力を含む運動 第11回 ばねとフックの法則 第12回 単振動 第13回 一様な重力場での運動 第14回 円運動 第15回 運動量と角運動量 定期試験						
【教科書】 初めて学ぶ物理学 (阿部 龍藏 著、サイエンス社)						
【参考書】 物理学 (小出 昭一郎 著、裳華房)						
【成績評価基準】 試験 (100%) で評価を行う。						
【メッセージ】 数学の解説も交えながら、なるべく理解しやすいように講義します。						

区 分	教養教育科目－自然科目	担当教員	新川 英典、竹野 健次			
授業科目	化学 I					
英 訳	Chemistry I					
配当年次	1年次 前期	必選別	選択	単位数	2単位	
【授業の概要】 私たちの生活を支える諸工業製品の製造には、化学の基礎理論、応用理論の学習が必須である。本講義では、物質の構成と基本的性質など化学基礎理論の知識を得ることを中心に、化学の歴史、原子と分子、化学結合、物質の状態、反応理論、酸化還元、電気分解、電池、エレクトロニクス材料、化石燃料、原子力、核融合、エネルギー、金属、金属の応用、有機化合物、プラスチックなど化学を包括的に学習する。						
【授業の目的】 諸工業製品には化学の反応を利用したものや素材技術が関与している。工業立国の我国は、化学の基礎理論が電気、情報、機械工学の技術レベルを支えている。また、理科や工業教育における基礎教養として基礎化学の知識と反応理論を広く理解することを目的とする。						
【到達目標】 物質の構成と基本的性質など化学基礎理論の知識を得ることを中心に、原子と分子、化学結合、反応理論、酸化還元、電気分解、電池、化石燃料、原子力、核融合、エネルギーなど化学を包括的に学習する。						
【準備学習(予習・復習)】 予習として、テキストを中心とする化学系の書籍を読み、化学が日常生活にどのように応用されているのか知る。その後、授業で習った物質の構造や反応など、化学的理論を毎回の小テストを中心に復習する。						
【授業計画】 第 1回：物質とは、近代化学の芽生え 第 2回：原子と分子、化学結合 第 3回：物質の状態、物質の反応、化学平衡 第 4回：物質と電気、酸化還元、電気分解 第 5回：電池、エレクトロニクス材料 第 6回：物質とエネルギー、化石燃料 第 7回：原子力エネルギー、核融合 第 8回：太陽エネルギー、その他のエネルギー 第 9回：金属物質、地殻とその成分 第10回：金属の精錬、金属と非金属化合物 第11回：有機化合物、有機化合物とは 第12回：有機化学反応、鎖式、環式化合物 第13回：プラスチック、エンジニアリングプラスチック 第14回：自動車とプラスチック、ゴム化学 第15回：まとめ 定期試験						
【教科書】 物質科学 (佐々木健、鈴木光次郎 共著、学術図書出版社)						
【参考書】 適宜、プリントを配布する。						
【成績評価基準】 小テスト (40%)、期末試験 (60%) で評価する。						
【メッセージ】 化学は、工業生産だけでなく理科教育でも基礎となる重要な科目です。しっかり身につけて欲しい知識です。						

区 分	教養教育科目－自然科目	担当教員	久保 隆			
授業科目	身のまわりの物理					
英 訳	Physics in Life					
配当年次	3年次	後期	必選別	選択	単位数	2単位
【授業の概要】 義務教育レベルの計算を用い、物理学の初歩について講義する。						
【授業の目的】 文系学科の学生に、文章から計算式を立て解を導く手法を思い出させる。さらに、高等学校で物理を履修していない学生に対しては、身の回りで起こる現象を計算を用いて予測する手法が存在することを理解させる。						
【到達目標】 義務教育レベルの演算で、種々の物理量を導出できるようになること。						
【準備学習(予習・復習)】 興味のある話は、教員に質問するかWEB等で調査し、理解を深めること。						
【授業計画】 第 1回 算教復習 第 2回 代数と関数 第 3回 物理量と単位系 第 4回 速度と距離 第 5回 直線運動と加速度 第 6回 力 第 7回 力の合成と分解 第 8回 仕事とエネルギー 第 9回 運動エネルギーと位置エネルギー 第 10回 温度と熱量 第 11回 気体の温度、体積、圧力 第 12回 熱のする仕事 第 13回 波の干渉と回折 第 14回 力学と電気 第 15回 電流、電圧、電力 定期試験						
【教科書】 なし						
【参考書】 なし						
【成績評価基準】 講義中に行う小テスト(50%以上)と期末試験(50%未満)の得点で評価する。						
【メッセージ】						

区 分	教養教育科目－自然科目	担当教員	竹野 健次、佐々木 慧			
授業科目	いきものの科学					
英 訳	Biophysics					
配当年次	3年次 前期	必選別	選択	単位数	2単位	
【授業の概要】 生命の基盤であるDNA、タンパク質の働き、細胞の仕組み、神経細胞や脳による情報処理、目や耳のようなセンサー、動物や植物の構造、生態系などを、画像とともに説明する。						
【授業の目的】 細菌をはじめ、動物、植物といった生物が、どのような仕組みで生活を維持しているか、その巧妙なメカニズムを物理的あるいは工学的な視点から理解することを目的とする。						
【到達目標】 各種細胞の仕組み、DNA、光合成、生き物の構造などに力点を置き、生物や生態系という驚異に真摯に向き合う姿勢を養う。						
【準備学習(予習・復習)】 授業の要点をまとめること。配布プリントを整理し内容を理解すること。不明点は質問すること。						
【授業計画】 第 1回 生物の多様さと生命活動 第 2回 細胞の構造 第 3回 ミトコンドリアとエネルギー 第 4回 細胞膜と浸透圧 第 5回 DNAと情報 第 6回 タンパク質と生命 第 7回 神経細胞の情報伝達 第 8回 脳のニューラルネットワーク 第 9回 眼、耳のメカニズム 第10回 筋肉、心臓 第11回 植物の光合成 第12回 樹木の構造 第13回 昆虫の構造 第14回 ホモメオスタシスと制御システム 第15回 まとめ・達成度試験						
【教科書】 必要に応じて、適宜プリントを配布する。						
【参考書】 必要に応じて、適宜プリントを配布する						
【成績評価基準】 達成度試験 (60%)、レポート (20%)、小テスト (20%) で評価する。						
【メッセージ】						

区 分	教養教育科目－自然科目	担当教員	渡邊 真彦、佐々木 慧、山崎 勝弘			
授業科目	身近な環境					
英 訳	Environment and Life					
配当年次	3年次 後期	必選別	選択	単位数	2単位	
【授業の概要】						
大気汚染、砂漠化、農業の課題、森林破壊、水資源の危機、温暖化の現状、化石燃料、自然エネルギーの利用、人口問題、廃棄物処理、生物種の絶滅や外来生物の影響などの身近な環境問題を学ぶ。						
【授業の目的】						
産業革命以後の活発な生産活動と爆発的な人口増加、世界戦争の勃発などにより、地球環境は大きく変化しており様々な問題が発生している。環境の恵沢を享受し継承していくために必要な知識を学ぶことが重要である。						
【到達目標】						
大気、水、気候、エネルギー、汚染物質など、身近な環境に影響を与えている原因と課題について、科学的なデータに基づいて学び、快適な環境を維持するための基礎的知識を得る。						
【準備学習(予習・復習)】						
授業の要点をまとめること。配布プリントを整理し内容を理解すること。不明点は質問すること。						
【授業計画】						
第 1回 生活と環境問題について概説						
第 2回 大気汚染、水質汚染などの身近な公害問題						
第 3回 バイオマス資源の利活用の現状						
第 4回 気候変動と地球温暖化						
第 5回 原油、石炭、天然ガスなどの化石燃料の現状						
第 6回 シェールオイル、メタンハイドレートの現状						
第 7回 原子力発電の現状と課題						
第 8回 核廃棄物処理の現状と課題						
第 9回 自然エネルギーを利用した発電の現状						
第10回 水の循環、水問題、上下水の処理						
第11回 砂漠化、森林破壊、						
第12回 生物種の絶滅、外来生物						
第13回 海洋生物・魚類						
第14回 海洋ゴミ、海洋汚染、						
第15回 まとめ						
【教科書】						
必要に応じて、適宜プリントを配布する。						
【参考書】						
地球環境科学 放送大学大学院教材(財)放送大学教育振興会 安井至21世紀の環境予測と対策 地球・人間・環境シリーズ、丸善						
【成績評価基準】						
レポート提出(40%)、小テスト(40%)、授業への取り組み(20%)で評価する。						
【メッセージ】						
身近な環境問題について理解を深め改善策を講じることが、人類の未来に必要不可欠である。						

区 分	教養教育科目－言語科目	担当教員	ヒギンボサム、テナント			
授業科目	英会話初級 I					
英 訳	English Conversation－Beginner I					
配当年次	1年次 前期	必選別	選択	単位数	1単位	
【授業の概要】 プロジェクトの説明 → インタビューの質問を作る → 平和記念公園でインタビューする → PowerPointのプレゼンテーション						
【授業の目的】 この科目は1学年の初級レベルの学生に対し、英語コミュニケーション能力の育成を目的とする。						
【到達目標】 学生が簡単な調査を英語で行えるようになること。また、学生が調査結果をパワーポイントのスライドショーを使って、英語でクラスメートにプレゼンを行えるようになること。						
【準備学習(予習・復習)】 毎時間実施される単語テストの準備をすること。授業にはテキストを必ず持参し、できれば辞書も持参することが望ましい。						
【授業計画】 第 1回 プロジェクトの説明・語彙の学習方法の指導・教室で良く使う英語表現の紹介 第 2回 ビデオでリスニングの練習 第 3回 質問をする表現を学ぶ 第 4回 グループを作る・プロジェクトのテーマを決める 第 5回 ビデオでリスニングの練習 第 6回 インタビューの質問を作る 第 7回 ICレコーダーを使ったインタビューの練習 第 8回 ICレコーダーを使った丁寧なインタビューの練習 第 9回 学外授業：平和記念公園でインタビューする 第10回 プレゼンテーションの計画 第11回 PowerPointのスライドショーを作る（パソコン教室で） 第12回 プレゼンテーションの練習（クラスメートのフィードバック） 第13回 PowerPointのプレゼンテーションの実施 第14回 PowerPointのプレゼンテーションの実施 第15回 前期の復習とまとめ						
【教科書】 A Talk In The Park by George Higginbotham and John Tennant（著）						
【参考書】 オンライン学習 moodle.hkg.ac.jp → A talk in the park のコース						
【成績評価基準】 プロジェクトワーク：50% 授業態度：15% 宿題：15% 小テスト：20%						
【メッセージ】 受講生はコンピュータやスマートフォンを使って、オンライン教材（ビデオ、リスニング、単語のフラッシュカード）を利用することが可能です。是非、それらを利用して下さい。						

区分	教養教育科目一言語科目	担当教員	ヒギンボサム、テナント			
授業科目	英会話初級 I (入門クラス)					
英 訳	English Conversation—Beginner I (Entry)					
配当年次	1年次	前期	必選別	選択	単位数	1単位
【授業の概要】 プロジェクトの説明 → プレゼンテーション 1 → プレゼンテーション 2 → プレゼンテーション 3						
【授業の目的】 この科目は1学年の初級レベルの学生に対し、英語コミュニケーション能力の育成を目的とする。						
【到達目標】 学生が簡単な調査を英語で行えるようになること。また、学生が調査結果をパワーポイントのスライドショーを使って、英語でクラスメートにプレゼンを行えるようになること。						
【準備学習(予習・復習)】 毎時間実施される単語テストの準備をすること。授業にはテキストを必ず持参し、できれば辞書も持参することが望ましい。						
【授業計画】 第 1回 プロジェクトの説明・語彙の学習方法の指導・教室で良く使う英語表現の紹介 第 2回 単語カードで、使用頻度の高い単語を学習 プレゼンテーション 1 の練習 第 3回 プレゼンテーション 1: Me, me, me (30秒) 第 4回 小テスト1 プロジェクトのテーマを決める 第 5回 Dictionary study (辞書 勉強) 第 6回 小テスト2 プレゼンテーション 2 の練習 第 7回 プレゼンテーション 2 (30秒 - 1分) 第 8回 質問をする表現を学ぶ 第 9回 プレゼンテーション 3 の準備 第 10回 小テスト3 Presentation skills: body language 第 11回 PowerPoint のスライドショーを作る (パソコン教室で) 第 12回 PowerPoint のスライドショーを作る (パソコン教室で) 第 13回 プレゼンテーション 3 の練習 (クラスメートのフィードバック) 第 14回 PowerPoint のプレゼンテーションの実施 (1分 - 3分) 第 15回 小テスト4 前期の復習とまとめ						
【教科書】						
【参考書】						
【成績評価基準】 授業態度: 15% 宿題: 15% 小テスト: 20% プレゼンテーション 1: 10% プレゼンテーション 2: 10% プレゼンテーション 3: 30%						
【メッセージ】 この科目は「英語 I」 c クラスまたは g クラスの学生のための科目です						

区 分	教養教育科目一言語科目	担当教員	ヒギンボサム、テナント			
授業科目	英会話初級 II					
英 訳	English Conversation—Beginner II					
配当年次	1年次	後期	必選別	選択	単位数	1単位
【授業の概要】 プロジェクトの説明 → インタビューの質問を作る（世界的な問題） → 平和記念公園でインタビューする → PowerPointのプレゼンテーション						
【授業の目的】 この科目は1学年の初級レベルの学生に対し、英語コミュニケーション能力の育成を目的として行われる。						
【到達目標】 学生が世界的な問題について調査を英語で行えるようになること。また、学生が調査結果をパワーポイントのスライドショーを使って、英語でクラスメートにプレゼンを行えるようになること。						
【準備学習(予習・復習)】 毎時間実施される単語テストの準備をすること。授業にはテキストを必ず持参し、できれば辞書も持参することが望ましい。						
【授業計画】 第 1回 プロジェクトの説明・語彙の学習方法の指導 第 2回 世界的な問題のテーマの紹介 第 3回 環境問題 第 4回 核兵器・核エネルギーの問題 第 5回 グループを作る・プロジェクトのテーマを決める 第 6回 インタビューの質問を作る 第 7回 ICレコーダーを使ったインタビューの練習 第 8回 学外授業：広島平和記念公園でインタビューする 第 9回 インタビューの録音内容を書き取る・プレゼンテーションの計画 第10回 PowerPointのスライドショーを作る（パソコン教室で） 第11回 プレゼンテーションの練習（クラスメートのフィードバック） 第12回 プレゼンテーションの練習（クラスメートのフィードバック） 第13回 PowerPointのプレゼンテーションの実施 第14回 PowerPointのプレゼンテーションの実施 第15回 後期の復習とまとめ						
【教科書】 Another talk in the park: About Global Issues by George Higginbotham and John Tennant (著)						
【参考書】 オンライン学習 moodle.hkg.ac.jp → About Global Issues のコース						
【成績評価基準】 プロジェクトワーク：50% 授業態度：15% 宿題：15% 小テスト：20%						
【メッセージ】 受講生はコンピュータやスマートフォンを使って、オンライン教材（ビデオ、リスニング、単語のフラッシュカード）を利用することが可能です。是非、それらを利用して下さい。						

区 分	教養教育科目－言語科目	担当教員	ヒギンボサム、テナント			
授業科目	英会話初級 II (入門クラス)					
英 訳	English Conversation－Beginner II (entry)					
配当年次	1年次	後期	必選別	選択	単位数	1単位
【授業の概要】 プロジェクトの説明 → インタビューの質問を作る → 平和記念公園でインタビューする → PowerPointのプレゼンテーション						
【授業の目的】 この科目は1学年の初級レベルの学生に対し、英語コミュニケーション能力の育成を目的として行われる。						
【到達目標】 学生が簡単な調査を英語で行えるようになること。また、学生が調査結果をパワーポイントのスライドショーを使って、英語でクラスメートにプレゼンを行えるようになること。						
【準備学習(予習・復習)】 毎時間実施される単語テストの準備をすること。授業にはテキストを必ず持参し、できれば辞書も持参することが望ましい。						
【授業計画】 第 1回 プロジェクトの説明・語彙の学習方法の指導・教室で良く使う英語表現の紹介 第 2回 ビデオでリスニングの練習 第 3回 質問をする表現を学ぶ 第 4回 グループを作る・プロジェクトのテーマを決める 第 5回 ビデオでリスニングの練習 第 6回 インタビューの質問を作る 第 7回 ICレコーダーを使ったインタビューの練習 第 8回 ICレコーダーを使った丁寧なインタビューの練習 第 9回 学外授業：平和記念公園でインタビューする 第10回 プレゼンテーションの計画 第11回 PowerPointのスライドショーを作る(パソコン教室で) 第12回 プレゼンテーションの練習(クラスメートのフィードバック) 第13回 PowerPointのプレゼンテーションの実施 第14回 PowerPointのプレゼンテーションの実施 第15回 前期の復習とまとめ						
【教科書】 A Talk In The Park by George Higginbotham and John Tennant (著)						
【参考書】 オンライン学習 moodle.hkg.ac.jp → A talk in the park のコース						
【成績評価基準】 プロジェクトワーク：50% 授業態度：15% 宿題：15% 小テスト：20%						
【メッセージ】 受講生はコンピュータやスマートフォンを使って、オンライン教材(ビデオ、リスニング、単語のフラッシュカード)を利用することが可能です。是非、それらを利用して下さい。						

区 分	教養教育科目－言語科目	担当教員	ヒギンボサム、テナント			
授業科目	英会話中級 Ⅰ					
英 訳	English Conversation－Intermediate Ⅰ					
配当年次	2年次	前期	必選別	選択	単位数	1単位
【授業の概要】 Eco-product プロジェクトの説明 → 環境にやさしい製品についての研究 → ポスタープレゼンテーション						
【授業の目的】 この科目は2学年の中級レベルの学生に対し、英語コミュニケーション能力の育成を目的として行われる。						
【到達目標】 ・製品に関することやそれらが環境に及ぼす影響について、英語で話せるようになること。 ・自分たちの考えを英語でプレゼンテーションできるようになること。						
【準備学習(予習・復習)】 授業にはテキストを必ず持参し、できれば辞書も持参することが望ましい。						
【授業計画】 第 1回 What is a product? Key vocabulary 第 2回 Making Products by hand Key Vocabulary Quiz 第 3回 How we make clothes 第 4回 Plastic products 第 5回 How we make cars 第 6回 Food products 第 7回 How we make homes 第 8回 Electronic products 第 9回 How we make computer games +Eco-product project の紹介 第10回 Products and our world + Eco-product project - initial ideas (brainstorming) 第11回 Eco-product project: developing and evaluating ideas 第12回 Eco-product project: short presentation to class “My idea is...” 第13回 Eco-product ポスター作成 第14回 ポスタープレゼンテーションの練習 第15回 ポスタープレゼンテーション (Eco-product poster event) の実施						
【教科書】 How we make products by Alex Raynham, Oxford University Press, ISBN: 9780194643832						
【参考書】						
【成績評価基準】 プロジェクトワーク：40% 授業態度：30% 宿題：20% 小テスト：10%						
【メッセージ】 積極的に参加することが、きわめて重要です。						

区 分	教養教育科目一言語科目	担当教員	ヒギンボサム、テナント			
授業科目	英会話中級 II					
英 訳	English Conversation-Intermediate II					
配当年次	2年次	後期	必選別	選択	単位数	1単位
【授業の概要】 Sky Towerプロジェクトの説明 → 構造に関する研究 →グループ ディスカッション → Sky Tower Competition (大会)						
【授業の目的】 英語のコミュニケーション能力の育成						
【到達目標】 ・英語を使った実践的な課題を完成させるために、グループの一員として活動できるようになること。 ・グループのメンバーと一緒に、アイデアを提案したり、説明したり、或いは、交渉できるようになること。						
【準備学習(予習・復習)】 授業にはテキストを必ず持参し、できれば辞書も持参することが望ましい。						
【授業計画】 第 1回 Introduction to the course. What is a structure? Key Vocabulary 第 2回 Tunnels Key Vocabulary Quiz 第 3回 Bridges - 'Build a strong bridge' challenge 第 4回 Skyscrapers 第 5回 Dams 第 6回 Olympic Structures 第 7回 Different Shapes 第 8回 Glass and Ice 第 9回 Amazing Places 第10回 Structures in Space & Introducing the 'Sky Tower Project' 第11回 Animal structures & project work (sharing design ideas) 第12回 グループ ディスカッション1: Deciding on the best design 第13回 グループ ディスカッション2: Finalizing the group design 第14回 Sky Tower 大会の練習 Will it work? 第15回 Sky Tower 大会						
【教科書】 Super Structures by Fiona Undrill, Oxford University Press, ISBN: 978-0-19-464381-8						
【参考書】						
【成績評価基準】 プロジェクトワーク：40% 授業態度：30% 宿題：20% 小テスト：10%						
【メッセージ】 積極的に参加することが、きわめて重要です。						

区 分	教養教育科目一言語科目	担当教員	平瀬 洋子			
授業科目	資格対策英語 Ⅰ (TOEIC・進学)					
英 訳	Preparation for the TOEIC Ⅰ					
配当年次	3年次	前期	必選別	選択必修	単位数	1単位
【授業の概要】 現在、企業への就職、大学院への進学等で、TOEIC テストのスコアが必要になっているので、授業では、その試験対策を行う。特に、実際の試験形式に合わせて、リスニングとリーディングを重点的に学習する。						
【授業の目的】 TOEIC IPでハイスコアが取れるように、リスニングとリーディングの力を養成すること。特に、文法の基礎力をつけるために、基礎から応用へと段階的に学習を進め、英語の総合力を養成する。						
【到達目標】 TOEIC IPでスコア400以上が取れるようにすること。						
【準備学習(予習・復習)】 オンライン教材の課題として、毎週、リスニング問題 100問 と文法問題 50問を締切日までにやること。 毎週、授業内容をよく復習しておくこと。						
【授業計画】 第 1回 TOEIC IP と授業の進め方について説明 第 2回 Unit 1 Transportation and Information (Listening Section) 第 3回 Unit 1 Grammar Upgrade, TOEIC EXERCISE (Reading Section) 第 4回 Unit 2 Instruction and Explanations (Listening Section) , オンライン教材の説明 第 5回 Unit 2 Grammar Upgrade, TOEIC EXERCISE (Reading Section) 第 6回 Unit 3 Eating and Drinking (Listening Section) 第 7回 Unit 3 Grammar Upgrade, TOEIC EXERCISE (Reading Section)、 第 8回 Extra Test 1 と Unit 1~3 の復習 第 9回 Unit 4 Business Scene (Listening Section) 、 第10回 Unit 4 Grammar Upgrade, TOEIC EXERCISE (Reading Section) 第11回 Unit 5 Communication (1) (Reading Section) 第12回 Unit 5 Grammar Upgrade, TOEIC EXERCISE (Reading Section) 第13回 Unit 6 Socializing (Listening Section)正しい語形の選択(動詞) (Reading Section) 第14回 Unit 6 Grammar Upgrade, TOEIC EXERCISE (Reading Section) 第15回 Extra Test 2 とUnit 4~6 の復習						
【教科書】 Start-up Course for the TOEIC TEST 著者：北山長貴 他 出版社：成美堂						
【参考書】 必要に応じて、授業で紹介する。						
【成績評価基準】 課題(オンライン教材)：30% , 授業への取り組み：20% 試験(TOEIC)：50%						
【メッセージ】 毎時間、授業にはテキスト、配布されたプリント、辞書を持参すること。						

区 分	教養教育科目－言語科目	担当教員	山中 祐子			
授業科目	資格対策英語 I (就職)					
英 訳	Career Preparation I					
配当年次	3年次 前期	必選別	選択必修	単位数	1単位	
【授業の概要】 3年次に選択必修科目として、英語の能力をさらに高めることを目標とする。この「就職対策クラス」は、1～2年次の必須科目「英語I～IV」で身につけた学力を発展、応用させて向上させる。						
【授業の目的】 就職に必要な英語力の向上をめざし、将来の目的に合わせた英語学習を行う。具体的には、実践的な場面を想定して、就職し英語が必要になる状況でどのように英語で対応していくか、そして、広い世界に目を向け視野を広めていけるように導く。						
【到達目標】 英語で最低限の意思疎通ができるようになるために英文法の基礎を一通り習得することを目標とする。						
【準備学習(予習・復習)】 前回の授業内容をよく復習しておくこと。提出物がある場合は、授業開始と同時に回収するので、必ず授業前に仕上げておくこと。						
【授業計画】 第 1回 オリエンテーション、 Drill 1 の導入 第 2回 Drill 1 普通の文 第 3回 Drill 1 e-mail の書き方 (カジュアル) Drill 2 打消し 第 4回 Drill 2 電話での対応 Drill 3 疑問文 第 5回 Drill 3 道の説明 第 6回 Drill 4 誰がいつどこで？ 第 7回 Drill 4 e-mail の書き方 (フォーマル) Drill 5 過去の文 第 8回 Drill 5 どの電車に乗ればいい？ 第 9回 Drill 6 過去の疑問文 第10回 Drill 6 メニューの説明 Drill17 ～しているところ 第11回 Drill 7 具合の悪そうな人を見かけたら 第12回 Drill 8 未来の文 第13回 Drill 8 e-mail の書き方 (ビジネス) Drill 9 命令文 第14回 Drill 9 表示の説明 第15回 期末まとめ						
【教科書】 『今日から使える基礎文法・実践ドリル』(松柏社) ISBN978-4-88918-609-7						
【参考書】 プリントを配布します。						
【成績評価基準】 期末まとめ時に実施するテスト80%、課題などの平常点20%で評価する。						
【メッセージ】 1. 必ず、テキスト、辞書を持参のこと。(忘れ物は減点します)(スマホ、携帯は禁止) 2. 積極的な発表は、平常点として加点しますので、どんどん発表してください。 3. できる限り個々人に対応していきたいと思っています。わからないことをそのままにせず遠慮せずどんどん質問してください。質問を歓迎します。一緒に解決していきましょう。						

区 分	教養教育科目一言語科目	担当教員	平瀬 洋子			
授業科目	資格対策英語 II (TOEIC・進学)					
英 訳	Preparation for the TOEIC II					
配当年次	3年次 後期	必選別	選択必修	単位数	1単位	
【授業の概要】						
現在、企業への就職、大学院への進学等で、TOEIC テストのスコアが必要になっているので、授業では、その試験対策を行う。特に、実際の試験形式に合わせて、リスニングとリーディングを重点的に学習する。						
【授業の目的】						
TOEIC IPでハイスコアが取れるように、リスニングとリーディングの力を養成すること。特に、文法の基礎力をつけるために、基礎から応用へと段階的に学習を進め、英語の総合力を養成する。						
【到達目標】						
TOEIC IPでスコア400以上が取れるようにすること。						
【準備学習(予習・復習)】						
オンライン教材の課題として、毎週、リスニング問題 100問 と文法問題 50問を締切日までにやること。毎週、授業内容をよく復習しておくこと。						
【授業計画】						
第 1回 TOEIC IP と授業の進め方について説明						
第 2回 Unit 7 Invitation (Listening Section) , オンライン教材の説明						
第 3回 Unit 7 Grammar Upgrade, TOEIC EXERCISE (Reading Section)						
第 4回 Unit 8 Medical Treatment and Insurance (Listening Section) ,						
第 5回 Unit 8 Grammar Upgrade, TOEIC EXERCISE (Reading Section)						
第 6回 Unit 9 Culture and Entertainment (Listening Section) ,						
第 7回 Unit 9 Grammar Upgrade, TOEIC EXERCISE (Reading Section)						
第 8回 Extra Test 3 と Unit 7~9 の復習						
第 9回 Unit 10 Eating and Drinking (Listening Section)						
第10回 Unit 10 Grammar Upgrade, TOEIC EXERCISE (Reading Section)、						
第11回 Unit 11 Sports and Exercise (Listening Section)						
第12回 Unit 11 Grammar Upgrade, TOEIC EXERCISE (Reading Section)						
第13回 Unit 12 Trouble and Claims (Reading Section)						
第14回 Unit 12 Grammar Upgrade, TOEIC EXERCISE (Reading Section)						
第15回 Extra Test 4 と Unit 10~12 の復習						
【教科書】						
Start-up Course for the TOEIC TEST 著者：北山長貴 他 出版社：成美堂						
【参考書】						
必要に応じて、授業で紹介する。						
【成績評価基準】						
課題(オンライン教材)：30%、 授業への取り組み：20%、 試験(TOEIC)：50%						
【メッセージ】						
毎時間、授業にはテキスト、配布されたプリント、辞書を持参すること。						

区 分	教養教育科目－言語科目	担当教員	山中 祐子			
授業科目	資格対策英語Ⅱ（就職）					
英 訳	Career Preparation Ⅱ					
配当年次	3年次 後期	必選別	選択必修	単位数	1単位	
【授業の概要】 3年次に選択必修科目として、英語の能力をさらに高めることを目標とする。この「就職対策クラス」は、1～2年次の必須科目「英語Ⅰ～Ⅳ」で身につけた学力を発展、応用させて向上させる。						
【授業の目的】 就職に必要な英語力の向上をめざし、将来の目的に合わせた英語学習を行う。具体的には、実践的な場面を想定して、就職し英語が必要になる状況でどのように英語で対応していくか、そして、広い世界に目を向け視野を広めていけるように導く。						
【到達目標】 前期での英語で最低限の意思疎通ができるようになるために英文法の基礎を一通り習得した上で、「音読」を中心にして基礎的な語彙や文法の確認をしながら、オフィスを舞台にした英語に慣れていくことを目標とする。						
【準備学習(予習・復習)】 前回の授業内容をよく復習しておくこと。提出物がある場合は、授業開始と同時に回収するので、必ず授業前に仕上げておくこと。						
【授業計画】 第 1回 オリエンテーション、Unit 1 出迎え 第 2回 Unit1, Unit2 ケイトとの出会い (be 動詞) 第 3回 Unit2, Unit3 苦情対応 (一般動詞・現在) 第 4回 Unit3, Unit4 会議の準備 (一般動詞・過去) 第 5回 Unit4, Unit5 出張打ち合わせ (疑問詞) 第 6回 Unit5, Unit6 使用法説明 (助動詞 1) 第 7回 Unit6, Unit7 仕事の悩み (命令文) 第 8回 Unit7, Unit8 電話対応 (進行形) 第 9回 Unit8, Unit9 会議の準備 (未来形) 第 10回 Unit9, Unit10 オフィス案内 (現在完了形) 第 11回 Unit10, Unit11 会議 (受動態) 第 12回 Unit11, Unit12 チェックイン (比較) 第 13回 Unit12, Unit13 ケイトとの再会 (助動詞 2) 第 14回 Unit13, Unit14 スモールトーク (to 不定詞) 第 15回 期末まとめ						
【教科書】 『音読で始める基礎英語』 (成美堂) ISBN 978-4-7919-1284-1						
【参考書】 適宜、プリントを配布します。						
【成績評価基準】 期末まとめ時に実施するテスト80%、課題などの平常点20%で評価する。						
【メッセージ】 1. 必ず、テキスト、辞書を持参のこと。(忘れ物減点します) (スマホ、携帯は禁止) 2. 積極的な発表は、平常点として加算しますので、どんどん発表してください。 3. できる限り個人々人に対応していきたいと思っています。わからないことをそのままにせず遠慮せずどんどん質問してください。質問を歓迎します。一緒に解決していきましょう。						

区 分	教養教育科目一言語科目	担当教員	川崎 千枝見、吉本 由美		
授業科目	資格対策日本語				
英 訳	Japanese Career Preparation				
配当年次	2年次 前期	必選別	留学生選択必修	単位数	1単位
【授業の概要】 日本語能力試験N1の練習問題を解き、形式になれるとともに、知識を深め、試験への準備をおこなう					
【授業の目的】 日本語能力試験N1合格を目指し、文法・語彙を増強し、読解・聴解のスキルを磨く					
【到達目標】 N1レベルに合格できる実力を養うこと					
【準備学習(予習・復習)】 予習：指定された箇所の問題を解き、理解できない点を明確しておくこと 復習：授業で学習した内容を理解し、翌週の確認小テストの準備をすること					
【授業計画】 第 1回 オリエンテーション 第 2回 Unit1 文字語彙① 第 3回 Unit4 読解① 第 4回 Unit4 読解② 第 5回 Unit4 読解③ 第 6回 Unit4 読解④ 第 7回 Unit3 文法① 第 8回 Unit3 文法② 第 9回 Unit3 文法③ 第 10回 Unit2 聴解① 第 11回 Unit2 聴解② 第 12回 実践問題 第 13回 模擬試験 1 第 14回 模擬試験 2 第 15回 期末まとめ 定期試験					
【教科書】 『パターン別 徹底ドリル 日本語能力試験N1』（アルク） 定価2,200円+税					
【参考書】 授業で紹介する					
【成績評価基準】 期末まとめ時に実施するテスト（60%）、小テスト（40%）で評価する					
【メッセージ】 N1合格を目指し、計画的に学習を進めましょう。					

区 分	教養教育科目一言語科目	担当教員	吉本 由美			
授業科目	ビジネス日本語					
英 訳	Business Japanese					
配当年次	2年次 後期	必選別	留学生選択必修	単位数	1 単位	
【授業の概要】 日本語能力試験N2レベルで、ビジネスの場面での会話の練習を中心に行う。						
【授業の目的】 ビジネスに必要なコミュニケーションの基本（敬語表現、ビジネスマナーなど）を身につける。						
【到達目標】 ビジネス場面において、適切な表現で、会話をすることができる。						
【準備学習(予習・復習)】 ことばの意味を予習し、発音練習をする。付属CDを聞いて、談話、会話の口頭練習をする。						
【授業計画】 第 1回 オリエンテーション 第 2回 1課 紹介する 第 3回 1課 紹介する 第 4回 2課 あいさつをする 第 5回 3課 電話をかける・受ける 第 6回 3課 電話をかける・受ける 第 7回 4課 注意をする・注意を受ける 第 8回 4課 注意をする・注意を受ける 第 9回 5課 頼む・断る 第10回 5課 頼む・断る 第11回 6課 許可をもらう 第12回 6課 許可をもらう 第13回 7課 アポイントをとる 第14回 8課 訪問する 第15回 期末まとめ 定期試験						
【教科書】 『こほんごで働く！ビジネス日本語30時間』スリーエーネットワーク						
【参考書】 『しごとの日本語 ビジネスマナー編』アルク						
【成績評価基準】 課題30%、小テスト20%、期末まとめ時に実施するテスト50%						
【メッセージ】 適切な表現と合わせて、話す順序をロールプレイで身につけてください。発音練習も繰り返ししてください。						